

学長メッセージ

学長の朔でございます。新入生の皆さん、ご入学、おめでとうございます。ご家族や関係者の皆様にも、心からお祝い申し上げます。

このたびは、新型コロナウイルス感染症の影響拡大に伴い、やむを得ず入学式を中止し、ウェブでメッセージをお伝えすることになりました。残念ではありますが、逆に、福岡大学 85 年の歴史の中で、一番、心に残る入学式セレモニーを共有できたと考えることもできます。

さて、本年、福岡大学に入学する学部生・大学院生約 4,500 名の皆さんは、大変厳しい入学試験の中から選ばれた方々です。そのような競争を勝ち抜いて、今日に至った皆さんに、心から拍手を送るとともに、自分の将来を描きながら充実した大学生活を過ごしてほしいと思います。

最近では、学生時代にドロップアウトする人が出る傾向にあります。これは、受験のためだけの偏った勉強をしてきたこと、推薦入学の場合においては、もまれて受験に勝ち抜いた感覚が乏しいことに原因があると考えます。人と交流できなかつたり、勉強する方法が分からなかつたりして、何科目も単位の修得ができなくなる学生がいます。1 年次生の時は一般教養の共通教育科目の履修が主で、それこそ、皆さん得意な分野で、あまり予習復習しなくてもいいかもしれませんが、専門教育科目を学ぶようになると、かなりの量の勉強が必要になります。そもそも、基本的な理解や確実な知識からしか疑問は生じてこないし、疑問を解決しようとしなければ人は進化しません。従って、理解して前に進んでください。

これからは、人と人がコミュニケーションをとる方法や、多職種で連携するための技を学生の中から学ぶ必要があります。情報化時代、多様化された社会では、大きな枠組みの中で、確実な知識の修得と実践力が求められているのです。本学はワンキャンパスに全ての学部学科があり、多様性に満ちています。皆さんには、その環境を活かし頑張ってもらいたいと思います。

一般的にどこの大学でも、新入生の2・3割は、「もっといい大学に行くはずだった」と、泣きながら入学していると言われています。実は、私も48年前に福岡大学医学部に泣きながら入学した一人でした。だからよく分かります。逆に2・3割の人は喜び勇んで入学しているとも言われています。皆さんも様々な思いを持っての入学でしょうが、入学式は、過去の自分と決着をつける日なんです。つまり、入学式は卒業式です。入学したからには、後はゴールに向かっていくだけです。

入学にあたって大切なことを伝えます。それは、福大生であることに誇りを持つこと、そして、福岡大学を好きになることです。そう思ってもらえるように、福岡大学も様々な取り組みを実施します。自分がなぜ福岡大学に入学したか、その目的を常に心に描いて、学生時代を過ごしてもらいたいと思います。

さて、福岡は大変明るく、住みやすい街です。コンサートも、野球もサッカーも、毎日のようにあります。クラブ活動も楽しいし、様々なスポーツイベントがあります。皆さん、青春時代の真ただ中ですので、スポーツも、クラブ活動も、そして、20歳を超えるとお酒も、そして恋愛も、多くの経験をする時期です。学生らしく、はつらつと行動してもらいたいと思います。将来の自分をイメージしながら、福大生であることを誇りに頑張ってください。夢があり、計画があり、行動があって成功します。このことを肝に命じてほしいと思っています。

私は、昨年12月に学長に就任しました。大学の使命は第一に「教育」です。私は、共に育つと書いて「共育」の意識を持つことが大切と考えています。そこで、福岡大学の新しいスローガンを「Rise with Us」としました。学生、教職員、卒業生、キャンパス、そして地域社会すべてが連動・拍動し、一体となって成長・発展することを目指しています。皆さんの夢を実現できる環境の整備に力を入れていきたいと思っています。

最後に一つ注意しておきたいことがあります。それは、たばこを吸ってはいけないということです。受動喫煙が社会問題になり、オリンピックが開かれる都市では、その地域が禁煙になることが条件にな

る程です。自分自身と周囲の人の健康、そして人生 100 年時代を健やかに送ることを真剣に考えてもらいたいと願っています。

皆さんのことをいつも応援しています。これから始まる大学生活、途中でくじけないように、志を高く持って、福大生の誇りを胸に、頑張ってください。

令和2年4月1日
福岡大学長 朔 啓二郎